

2007年2月13日



# PRESS RELEASE

株式会社ホームアドバイザー(運営サイト「HomePLAZA」、以下、当社)は、GSKグループからの一部資金サポートを得て、役職員によるEBO(MBOの一形態である「Employee Buy-Out」)に成功、「不動産ポータル運営のベンチャー企業」として新たなステージに向け第一歩を踏み出すこととなりました。

問合せ先 総務経理部  
電 話 03-5402-6887  
U R L <http://www.home-plaza.jp>

平成18年12月22日、当社(東京都港区 資本金5420万円 代表取締役 井端純一)は、株式会社アドパークコミュニケーションズ(東京都港区 資本金4000万円 代表取締役社長 平田実、以下、アドパークコミュニケーションズ)との資本関係を円満に解消し、役職員によるEBOという形でさらなる飛躍を目指すことになりました。

新築分譲サイト「HomePLAZA」は、「家を買う、をギャンブルにしない」を合言葉に、物件を「視覚レベル」で容易に比較することができる「マトリックス機能」を提供してきました。

これは、業界初の画期的システムである、との評価をいただき、業界最大手の一つといわれる地位を獲得するまでになりました。

また、「HomePLAZA」の企画・制作・運営は当社、営業はアドパークコミュニケーションズという分業体制で進めてきたことで互いの専門性が発揮されたことも、高い業界シェアを得た理由であったと考えております。

しかしながら、この体制は、業界の競争が激しさを増す中、市場のニーズをくみ取るという点で迅速性に問題のある形態であるとの反省が生じてきました。また、競争に勝ち残っていくためには、開発速度を上げ、さらに高度で使いやすいシステムを提供していくことが必要であると感じるようになりました。

このため、「サイト運営部門」と「営業部門」を統合するとともに、人材力、資金力などに優れた先進的な企業との交流を持つ道を模索してきました。

上記の課題を踏まえ、当社では昨春よりEBOによるアドパークグループからの独立を検討してきましたが、GSKグループのサポートを得て、平成18年12月22日、アドパークコミュニケーションズとの間で独立の合意に至りました。

当社では、これを機に「不動産情報ポータルのベンチャー企業」として、より精力的に全国展開を進め、名実共に国内最大級の「イノベティブな新築分譲サイト」を目指します。